



結婚式次第

司式

神父

証人

様

様



〇〇〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 00 : 00

鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂



1. 開 祭

司式司祭入堂 (全員ご起立ください)



新郎新婦入堂 (中央通路を向いて、新郎新婦をお迎えください)

あいさつ

はじめの祈り



聖歌

別冊 頁

全員で歌う

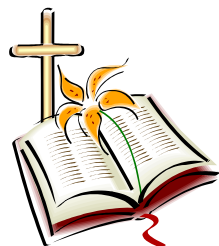
2. ことばの典礼

(全員ご着席ください)

聖書朗読

(別紙)

新郎新婦へのことば



3. 結婚の儀

(新郎新婦・証人はお立ちください)

導 入

結婚意志の確認

司 祭: さん、 さん、お二人は自らすんでこの
結婚を望んでいますか。

新郎・新婦: はい、望んでいます。

司 祭: 結婚生活を送るにあたり、互いに愛し合い、尊敬し
合う決意
をもっていますか。

新郎・新婦: はい、もっています。

司 祭: あなた方は恵まれる子供を真の幸せに導くように育てますか。

新郎・新婦: はい、育てます。

結婚の誓約

司 祭: それでは神と私たち一同の前で結婚の誓約を交わして下さい。

新 郎: さん、わたしはあなたを妻として迎えます。
喜び、悲しみ、苦しみをともし、夫として生涯、あなたを愛し敬
うことを誓います。

新 婦: さん、わたしはあなたを夫として迎えます。
喜び、悲しみ、苦しみをともし、妻として生涯、あなたを愛し敬
うことを誓います。

結婚成立の宣言

司 祭: わたしはお二人の結婚が成立したことを宣言いたします。
お二人がいまわたしたち一同の前で交わされた誓約を神が固
めてくださり、祝福で満たしてくださいますように。

指輪の祝福

司 祭: 教会は、キリストの名によってこの指輪を祝福します。
神よ、この指輪を(✝)祝福してください。これを身につける者
が互いに忠実を守り、あなたの平和とみ旨のうちにとどまり、
つねに互いの愛をはぐくむことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって アーメン。

指輪の贈呈

新 郎: さん、この指輪を、私の愛と忠実
のしるしとして受けて下さい。

新 婦: さん、この指輪を、私の愛と
忠実のしるしとして受けて下さい。



署 名 歌唱者の独唱

共同祈願 (意向のあと、一同: 神よ、私たちの祈りを聞き入れてください。)



主の祈り

一 同: 天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますよ
うに、み国が来ますように、みこころが天に行われるとおり地
にも行われますように、わたしたちの日ごとの糧を今日もお与え
ください。わたしたちの罪をお赦しください。わたしたちも人をゆる
します。わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください。
アーメン。



4. 閉 祭

新郎新婦の祝福

ご列席の皆さん、お二人の上に神の祝福を願い、結婚の絆によって結ばれたこのお二人を神がいつくしみ深く守り、助けて下さるように祈りましょう。

宇宙万物の造り主である父よ、あなたをご自分にかたどって人を造り、夫婦の愛を祝福して下さいました。きょう結婚の誓いを交わした二人の上に、満ちあふれる祝福を注いで下さい。二人が愛に生き、健全な家庭をつくり、子供に恵まれますように。喜びにつけ悲しみにつけ、信頼と感謝を忘れず、あなたに支えられて仕事に励み、困難にあっては慰めを見出すことができますように。また多くの友に恵まれ、結婚がもたらす恵みによって成長し、実り豊かな生活を送ることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって アーメン。

結びの祝福

司 祭: 永遠の神である父が、相互の愛によって結ばれた二人を守って下さり、その家庭がいつもキリストの平和で満たされますように。

一 同: アーメン。

司 祭: 二人が子どもに恵まれ、よい友を得て、すべての人ともことの平和を分かち合うことができますように。

一 同: アーメン。

司 祭: 社会にあっては神の愛をあかしめる者となり、苦しむ人々の友となることができますように。

一 同: アーメン。

司 祭: 全能の神、父と子と聖霊の祝福が(✚)皆さんの上にありますように。

一 同: アーメン。



感謝の聖歌

(別冊 頁)

全員で歌う

結びのことば



新郎新婦退堂 (中央通路を向いて、新郎新婦を送りましょう)

